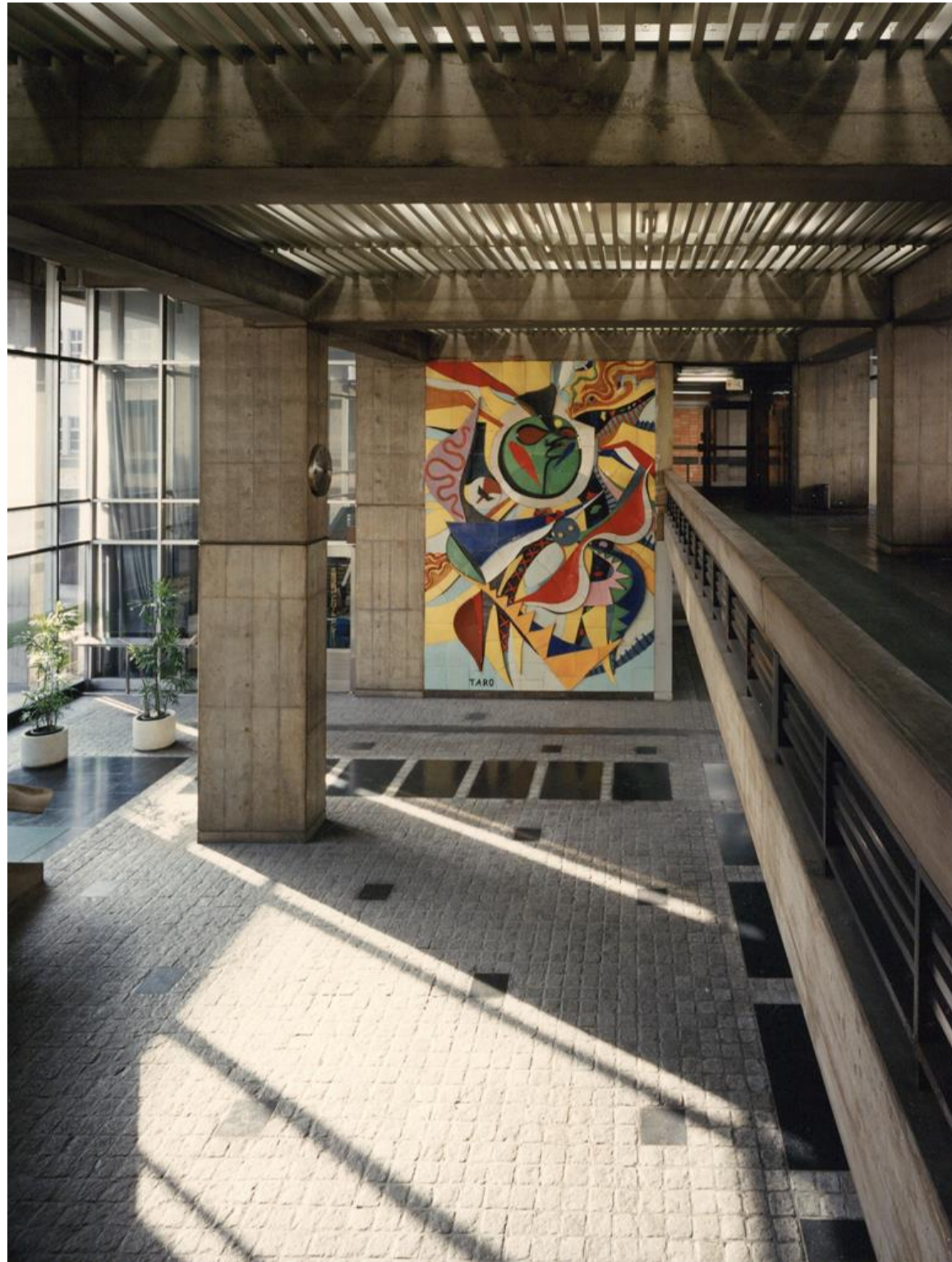


岡本太郎の陶板壁画群



《日の壁》

財務局庁舎管理部『写真記録 旧丸の内都庁舎』、平成3年(1991)

第一本庁舎には、《日の壁》《月の壁》《建設》《青》《赤》《黄》《緑》の計7点11面からなる岡本太郎作の陶板壁画が設置されました。

庁舎設計者・丹下健三は、竣工1年前の昭和31年(1956)、岡本に壁画の製作を依頼します。この壁画群は、コンクリート造りのモダンな庁舎に、力強い色彩を添え、昭和34年(1959)にはフランスの雑誌『今日の建築』で、国際建築絵画大賞を受賞します。

丸の内庁舎の取壊しが決まると、都においても壁画の保存が検討されました。調査の結果、壁画の取外し・保全是技術的・費用的に困難であることがわかり、製作者の岡本と協議を重ねた結果、平成3年(1991)に解体されました。